

# ハンドボール

# No. 1

Japan Handball Association



社会人  
 学生  
 高専  
 高体連  
 中体連  
 小学生  
 少年男子

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会

男子  
 女子

試合番号 **B-12**

年月日 2023 年 10 月 10 日 (火)  
 大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

## 公式記録用紙

A 岩手県										山梨県										B					
鹿児島県					霧島市					霧島市溝辺体育館					準々決勝										
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m70-3775	A	B											
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数														
1/1	1	2	前	3	1	2	後	3	0/1	1336	0721	1513													
No.	岩手県						G	W	2'	2'	D	DR	No.	山梨県						G	W	2'	2'	D	DR
1	水口 和政												1	佐藤 權斗											
2	沖 啓成												2	雨宮 弘典											
3	八島 依央						3						3	清水 大地											
4	杉田 一輝						7						4	古澤 宙大											
5	村田 大希						6						5	清水 稔悟									1		
6	大森 樹												6	松本 博也						6					
7	高橋 葵						5						7	青砥 直輝						6			1		
8	熊谷 碧来						1		1				8	内田 蓮						4					
9	川代 陽章						2						9	玉川 翔琉											
10	大宮 舜						1						10	尾石 洋太郎						10					
11	佐々木 士権						1						11	小路 鳳太						6					
12	流踊 大和												12	堀川 陸											
監督A	安倍 千夏												監督A	八田 政史											
役員B	大沢 勝												役員B	八田 政久											
役員C	工藤 和真												役員C	高橋 慶悟											
A	安倍千夏						チーム役員A署名						八田 政史						B						
特記事項																									

レフェリー	後藤 拓	永田 真也	後藤 拓	永田 真也
TD	原口 佳也	松尾 俊彦	原口 佳也	松尾 俊彦
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告留付失格(DR)特記事項に報告留付として内容を記入

# ハンドボール

# NO.4

《資料4 戦評用紙》

## 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月10日(火)	試合番号	B-⑫	回戦	準々決勝
種別	少年男子	会場	霧島市 溝辺 体育館		

Aチーム名			Bチーム名		
岩手県			山梨県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
26	7	前半	19	32	
	19	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

1・2回戦、本来の実力を発揮し勝ち上がった岩手県と、2回戦から登場し、地元鹿児島県の大応援の中でも動じず、堅守速攻を貫き、試合を制した山梨県が激突した少年男子準々決勝第1試合、岩手県のスローオフで前半を開始した。前半1分岩手県⑤村田のシュートで先制したが、すかさず山梨県⑦青砥がやり返す。そこから、山梨県のディフェンスが機能し、⑩尾石⑥松本らの速攻が光り、4連続得点を記録する。前半7分、たまたま岩手県がタイムアウトを申請する。その後、岩手県LW⑩大宮のサイドシュートで得点をあげ、反撃を試みるも山梨県の攻撃が止まらない。さらに⑪小路らの速攻で得点を重ね、差を9点に広げる。ここで勝負を決められたくない岩手県は前半15分に2回目のタイムアウトを申請する。ここから岩手県が息を吹き返す。岩手県③八島のミドルシュートやCB⑪佐々木とPV⑤村田のコンビネーションで反撃する。しかし、山梨県はそれに動じず⑧内田らの速攻で着実に得点を重ね、前半を7対19で山梨県のリードで折り返す。

後半、早く追いつきたい岩手県は、⑩大宮のディスタンスシュートで後半チーム初得点を挙げる。対する、山梨県も⑦青砥の連続速攻で簡単には差を縮めさせない。後半5分、岩手県GK⑫流踊のビックセーブからリズムを掴み、③八島④杉田らの得点で追撃をかける。後半12分山梨県⑦青砥の2分間退場をきっかけに試合の流れがさらに岩手県に傾く。たまたま山梨県はタイムアウトを申請するも、タイムアウト後さらに⑥清水も2分間退場してしまう。その隙をつき一時5点差まで追いつくも、山梨県GK⑫堀川が要所を抑えるセービングを魅せ、反撃はここまで。26対32で山梨県が勝利し、準決勝1番乗りを果たした。対する岩手県は、前半の失点が響く試合展開となってしまった。

記載者氏名	大西 史朗
送信日時	10月10日(火) 11:25